



岡部株式会社

当社の温室効果ガス排出削減目標が SBT 認定を再取得

建設関連製品事業や海洋事業等を展開する岡部株式会社（本社：東京都墨田区、代表取締役 社長執行役員：河瀬博英）は、このたび、岡部グループが新たに掲げる 2035 年度に向けた温室効果ガス排出削減目標が、「地球の気温上昇を産業革命前と比べて 1.5 °C に抑える」というパリ協定が定める温室効果ガス排出削減目標^{※1}と科学的に整合した目標であるとして、国際的なイニシアチブである「SBTi（Science Based Targets initiative）^{※2}」より SBT の認定を取得しましたので、お知らせいたします。

当社グループは 2023 年 10 月に初めて同認定を取得していましたが、その後の事業再編（一部海外子会社の連結対象外化）に伴い、再編後の事業構造を反映するため、基準年を再設定し、目標の再計算を行いました。新たな目標は、最新の SBT 認定基準に則り再申請を行い、2026 年 3 月に認定されたものです。当社グループは引き続き、パリ協定で求められる水準と整合した GHG 排出量削減に取り組んでまいります。



DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

SBT 認定された岡部グループの温室効果ガス排出削減目標

項目	従来目標	新目標	
基準年	2022 年	2024 年	
目標年	2030 年	2035 年	
目標値	Scope1+2 ^{※3}	50.0%削減	63.0%削減
	Scope3（カテゴリ 1+4） ^{※3}	25.0%削減	37.5%削減

当社グループは、長期ビジョンである「okabe コーポレートビジョン 2040」のもと、「気候変動、地球温暖化」及び「環境保全、脱炭素、資源循環の実現」をマテリアリティの一つとして特定しております。将来的には、GHG 排出量の削減に加え、建設現場ゼロエミッションへの貢献、海洋事業を通じた藻場再生など、環境負荷低減への取り組みを積極的に進め、カーボンニュートラル企業を目指してまいります。

- ※1 パリ協定では「世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて 2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力をする」という世界共通の長期目標を掲げています。
- ※2 SBTiは、2015年にCDP、国連グローバル・コンパクト、WRI（世界資源研究所）、WWF（世界自然保護基金）によって共同設立された国際的なイニシアチブであり、企業が設定する温室効果ガス排出削減目標が、科学的根拠に基づいて世界の気温上昇を 1.5℃未満に抑えるための目標となっているかを検証し、基準を満たす目標に対して認定を行っています。
- ※3 スコープ 1：自らの燃料の燃焼や工業プロセスに伴う直接排出、スコープ 2：他社から供給された電気・熱・蒸気などのエネルギー使用に伴う間接排出、スコープ 3：スコープ 1,2 以外の間接排出、カテゴリ 1：購入した製品・サービス、カテゴリ 4：輸送・配送（上流）

〈本件に関するお問い合わせ先〉 [岡部株式会社](#) 経営企画室 サステナビリティ推進部
TEL: 03-3623-6136 MAIL: a008@okabe.co.jp